

初診時に経過観察を選択した無症候性脊髄終糸脂肪腫の中期予後：単施設後方視的検討

1. 研究の対象

当センターにおいて2010年4月から2025年12月の間に診断し、経過観察を行った終糸脂肪腫患者96例

2. 研究目的・方法・研究期間

脊髄終糸脂肪腫 (Filum terminale lipoma: FTL) は脊髄の係留を引き起こし、脊髄係留症候群と関連している事が知られている。腰椎MRI検査での検出率は0.24-4%と報告され、剖検例では4-6%で同定されたという報告もある。無症候例については、その自然経過は良好とされる一方、症候化を懸念して予防的手術もしくは経過観察が選択されることがある。今回我々は初診時に無症候と診断し経過観察を選択したFTLについてその中期予後を後方視的に検討した。

当センターにおいて2010年4月から2025年12月までに腰椎MRI検査でFTLと診断された患者のうち、初診時に経過観察を選択した96例を対象とした。

96例について、性別、診断確定時年齢、最終受診日時、初診時症状の有無、既往・併存症について情報を収集した。MRI検査からは脊髄円錐高位、T1横断像でFTL最大径(mm)を調べた。追跡期間は初診時から最終受診日までの期間とし、症候化の有無を評価した。診断確定時年齢はMRI検査日時とした。症候化のリスク因子として、低位円錐(L2/3以下)、中心管拡大、終糸最大径 ≥ 2 mm、直腸肛門奇形合併を定義した。

研究方法は後方視的研究である。

研究期間は倫理委員会承認後～2030年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、診断確定時年齢、最終受診日時、初診時症状の有無、既往・併存症

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先および研究責任者：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 脳神経外科 研究責任者および担当者名 加藤 美穂子

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目426番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

公開日 20 年 月 日

-----以上